

Certified Network Cabling Design Professional<含認定試験>

(ネットワーク・ケーブリング・デザイン・プロフェッショナル認定コース (CNCDP))

スケジュールと申し込み	スケジュール確認・お申し込み
コースコード	HU0D3S
日数 (開始時間～終了時間)	2日間 (10:00～18:00)
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> • クラスルーム (本社) • <u>ライブオンライン</u> • <u>一社研修・オンサイト研修</u>
受講料	240,000円 (税込み:264,000円)
主催	日本ヒューレット・パカード合同会社

データセンターのケーブリングについての技術的な知識、設計(データセンター内外のネットワークケーブル、パッチシステムなど)、その実装方法について学習します。

ベンダーに依存しない、世界で通用する認定研修と試験のセットです。日本では、HPEでのみ受講および受験が可能です

データセンター認定資格について、詳しくは[こちら](#)をご覧ください

このコースでは、ケーブルシステムの設計と設置に必要な、技術標準、さまざまなケーブルサブシステムの設計、材料要件の計算、アーキテクチャ、設置、テスト、及び承認などを含む、詳細な知識情報を提供します。データセンター・ネットワーク・デザイン・プロフェッショナル認定試験に合格すると、CNCDP®: Certified Network Cabling Design Professional資格が取得できます。

HPE教育サービスが選ばれる理由

- IDC MarketScape で 7 年連続で IT 教育とトレーニングのリーダーに選出*
- IDCは、グローバルカバレッジ、比類のない技術的専門知識、ターゲットを絞った教育コンサルティングサービスでリードしていると評価しました*
- OpenStack®, VMware®, Linux®, Microsoft®, ITIL, PMI, CSA, SUSEとの主要なパートナーシップ
- 自分のペースで進められるeラーニング、カスタム教育コンサルティング、従来の教室、ビデオオンデマンド指導、ハンズオンラボによるライブのバーチャルインストラクターによるトレーニング、専用のオンサイトトレーニングなど、一連のトレーニング提供オプションが揃っています
- HPEトレーニングクレジットによるシンプルな購入オプション

*「Realize Technology Value with Training」IDC Infographic 2037、ヒューレット・パカード主催 エンタープライズ、2019

対象者

IT、施設、データセンターの専門家、コンサルタント、またはネットワークケーブルシステム的设计、実装、運用に携わる方

前提条件

特別な前提条件はありません。

ただし、IT、データセンター、または施設環境で少なくとも1年または2年の経験があることが望ましい。

このコースに参加する前に、CDCPの資格を取得しておくことを強く推奨します。

※CDCPIは必須ではありません。

コースの目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ネットワークケーブルシステムのさまざまな規格、モデル、およびこれらをネットワーク設計に適用する方法の理解
- 業務用施設のケーブルシステムおよびパッチシステムの設計

- データセンターのネットワークケーブル及びパッチシステムの設計
- 屋内外のケーブル配線のバックボーン的设计
- ネットワーク設置に最適な固定方法/経路の選択
- 正しいインストール方法を適用し、陥りがちなミスを回避できるようになる
- 電線およびファイバーシステムの適切なテスト基準と方法の理解

CNCDP資格とは

CNCDP は全世界で有効な、データセンターのケーブリングに関する高度な専門知識を有することを証明するベンダーに依存しない世界資格です。

日本においては当社の研修でのみ取得可能です。

有効期限は、3年です。期限切れの期日は、認定証の下の方に記載されます。

なお、有効期間内にCNCDP再試験を受験して合格することで資格を更新できます。更新すると、有効期間は3年間延長されます。

以下の場合には、再度コースを受講していただく必要があります。

- 受講後1年以内に合格していない場合
- 試験に3回連続で不合格になった場合

コース内容

構内配線システム (SCS) の概要	<ul style="list-style-type: none"> SCSの簡単な歴史 基本的な銅線およびファイバー伝送 銅線およびファイバーケーブル シングルモードおよびマルチモードファイバー ステップ/グレーデッドインデックスマルチモードファイバー 商用配線とデータセンターのケーブル配線の違い 	<ul style="list-style-type: none"> 標準の開発 標準の役割 ANSI/TIA 568 規格 一般的な標準 スマートビルディングをサポートするためのケーブルの新しい使用法
フロア内配線および全体管理 - オフィスビル	<ul style="list-style-type: none"> 標準図の要約:ANSI / TIA-568 機能要素と例 シナリオ A: 作業領域の数を決定する シナリオ B: ユーザーの場所の数を決定する ゾーン配線 	<ul style="list-style-type: none"> 管理:相互接続と相互接続 角度付きパネルとフラットパネル ケーブル配線スキマティック設計の作成 回路図を物理レイアウトに変換 品目リストの計算
フロア内配線および全体管理 - データセンター	<ul style="list-style-type: none"> 標準図の要約:TIA-942 基本/縮小/一般的なデータセンターのセットアップ 従来の3層ネットワーク設計/スパインおよびリーフネットワーク設計 終端ハードウェアの選択 管理設計 	<ul style="list-style-type: none"> ToR/EoR/スパインおよびリーフケーブル設計 ネットワークとケーブルの耐障害性 ToR/EoR のケーブル配線概略設計の作成 パッチパネル/ラックレイアウトに変換 ToR/EoRの材料リストの計算
建物のバックボーン - オフィスビル	<ul style="list-style-type: none"> バックボーン図 テレコムルーム(TR)あたりの銅線バックボーン要件を計算する 通信室ごとのファイバーバックボーン要件を計算 建物のバックボーン要件を要約する 認識されたケーブル 	<ul style="list-style-type: none"> バックボーンパッチパネル 最大バックボーン距離 ケーブル配線のスキマティック設計を作成 回路図設計をパッチパネル/ラックレイアウトに変換
バックボーンの構築 - データセンター	<ul style="list-style-type: none"> TIA-942 ベースのバックボーントポロジ TIA-942 バックボーン要件 認識されたバックボーンケーブル ToR/EoR/スパインとリーフ バックボーン距離の推定 	<ul style="list-style-type: none"> バックボーンケーブルルートのレジリエンス ケーブル配線スキマティック設計の作成 回路図設計をパッチパネル/ラックレイアウトに変換 ファイバーコネクタのフィールドおよびフュージョンターミネーション 終端処理済みのファイバートランクおよび銅線ケーブル
アーキテクチャに関する考慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ANSI/TIA569-D ケーブル経路とスペース 部屋の一般的な要件 部屋の定義 エントランスルーム/境界 天井と床の経路タイプ ケーブルトレイ/バスケット/ラダー/配管 インナーダクト/スリーブ/スロット 経路サイズの計算 	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル配線のベストプラクティス ケーブル管理/AIM 接地とボンディング 銅線ケーブルと電力ケーブルの分離距離要件 防火 耐火性バリア 耐火ジャケットケーブル

キャンパス/アウトドアバックボーン

- 一般的なキャンパス ケーブルの設置とケーブルの種類: 架空ケーブル、直接埋設、地下導管
- 屋外ケーブル敷設計画
- 雷/サージ保護
- サージプロテクタの承認されたグラウンド
- スキーマティック ダイアグラムの作成
- 回路図を物理レイアウトに変換する

現場の検査と試験

- 目視による現場検査ノート
- インストールの一般的な問題
- 銅試験規格
- パーマネント・リンク/チャネル・パッチ・コード/MPTLテスト構成
- ファイバーコネクタ
- 繊維試験規格
- Tier 1およびTier 2認証
- ファイバーリンク定義
- ファイバーテストの手順
- 繊維の検査とクリーニング
- テストセットのキャリブレーション - 3 つの方法
- テスト用のマンドレルの設定
- ファイバー損失バジェットの計算
- G.657曲げ感度に欠けるファイバー
- 光パルス試験器 (OTDR)

詳細については、
以下をご覧ください。

<https://education.hpe.com/jp/ja/training/portfolio/datacenter.html>

フォローしてください:



[お問い合わせフォーム](#) →

[FAQサイト](#) →

© Copyright 2024 Hewlett Packard Enterprise Development LP. ここに記載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。Hewlett Packard Enterpriseの製品およびサービスに関する唯一の保証は、当該製品およびサービスに付随する明示的な保証書に記載されています。本書のいかなる規定も、追加の保証を構成するものと解釈されるべきではありません。ヒューレット・パッカード エンタープライズは、ここに含まれる技術的または編集上の誤りまたは脱落について責任を負わないものとします。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。OpenStack のワードマークは、米国およびその他の国における OpenStack Foundation の登録商標/サービスマークまたは商標/サービスマークであり、OpenStack Foundation の許可を得て使用しています。私たちは、OpenStack Foundation または OpenStack コミュニティと提携、承認、または後援されていません。Pivotal および Cloud Foundry は、米国およびその他の国における Pivotal Software, Inc. の商標および/または登録商標です。Linux は、ライナス・トーバルズ(米国およびその他の国)VMware は、VMware, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

HU0D3S A.00 2024年12月